

ソフト事業のみ
  ハード事業を含む

## 成果検証報告書

## 【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度 令和5年度

市町村名	寄居町					
提案事業名	寄居町地域おこし協力隊事業					
事業期間	令和2年度 ～ 令和4年度					
成果指標	(成果を検証する指標) 移住・創業に関する相談者数 (成果検証の具体的な方法)					
	(成果の目標値に対する実績)			達成度	A	
	従前値 (1年12月時点)	2人/年	目標値 (5年3月時点)	25人/年	実績値 (5年3月時点)	30人/年
	(施設建設等の場合の実績)					
	年間利用者数 (人)	(目標) (実績)		稼働率 (%)	(目標) (実績)	
	住民への公表状況 及び特記事項					

## 【事業効果の整理・原因分析】

令和4年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① 中心市街地での空き店舗活用・創業支援事業	○	<b>【事業効果】</b> ①空き家の相談を受け、情報を集約し、その後の活用などに結びつけることができた。 ②移住希望者・創業希望者の相談を受け付け、移住に結びつけることができた。 ③移住定住につながる可能性のある、関係人口を増やすことができた。 <b>【要因】</b> ①空き家の相談を受け付ける体制を整え、案内を納税通知書へ同封、またリーフレットの作成・配布を行った。 ②行政や商工会との連携や、相談者への継続的な支援を行った。 ③空き家を活用した事業やイベントの開催をした。
② 中心市街地の魅力向上・集客促進事業	○	<b>【事業効果】</b> ①動画配信により、全国的に町や特産品の認知度を上げることができた。 ②町の魅力を、スポーツを通して高めることができた。 <b>【要因】</b> ①定期的に町の魅力などを動画で配信し、視聴者を獲得した。 ②子どもを対象としたバスケットボールのイベントを多数開催した。

## 【成果検証の総括・改善策の検討】

実施事業について十分に成果が認められた点	各種事業の実施により、寄居町の空き家の情報集約・発信、移住希望者や創業希望者への支援、魅力や認知度の向上が図る事ができた。
実施事業について成果が不十分である点	新型コロナウイルス感染症の影響により、縮小・中止となった事業やイベント等があったこと。
成果検証を踏まえた今後の改善策	最終的な目標の設定と達成のために必要なことの整理、体系的かつ継続的な事業とするため、関係各署を巻き込んだ検討が必要。